



学校図書館だより



2016年10月 24日
 横浜市立森の台小学校
 校長 田中 公明
 図書主任 清水あゆみ
 学校司書 近江弥穂子



No. 6

全校児童が全力で取り組んだ運動会が終わりました。各学年の演技は、子ども達一人ひとりが練習に励み、磨きをかけてきたことが伝わるものでした。この演技を見て、次の学年への思いをはせた児童も多いのではないのでしょうか。練習期間中、運動会の前は外で遊べないことが多くあり、学校図書館はいつもたくさんの児童でにぎわっていました。その反面、準備や練習で忙しく、落ち着いて本を読めなかった児童もいました。これから、ようやく本を読む時間が戻ってきて嬉しく思っている子どもも少なくないでしょう。

もうすぐ読書月間が始まります。読書月間には、図書委員会や図書ボランティアさん、おはなしポケットさん、学校司書による様々な企画があります。「読書の秋」ですし、多くの児童が読書を楽しむ秋になってくれると嬉しいです。

がっこうとしょかん 学校図書館からのお知らせ

● 11月は読書月間です。次のイベントが開催されます。

- ◇各クラス：読書の木
- ◇図書委員会：劇（読書集会にて）・おはなし列車をつくろう！
- ◇おはなしポケットさん：『わたしの大好きな本』の読み聞かせ
- ◇図書ボランティアさん：スタンプラリー、ゴールしてしおりをもらおう！

せんせい ほん 先生のおすすめ本

柳井先生（3-1）	山本先生（3-2）	伊藤先生（3-3）	植木先生（3-4）
『デルトラ・クエスト』	『あらしのよるに』	『魔女の宅急便』	『ぼくらの七日間戦争』
エミリー・ロッダ作	あべひろし作	角野栄子 作	宗田理 作

学校図書館に あります	学校図書館にあり ます	学校図書館にあ ります	学校図書館に あります
----------------	----------------	----------------	----------------

わたしが小学生の時
にはやった本です。
主人公のリーフが
知恵と勇気をふりし
ほり、かげの大王の
手下たちとたたかう
姿がとてもかっこい
いので、ぜひ読んでみ
てください。

あらしの夜に偶然
出会ったオオカミと
ヤギ。たべるものと食
べられるものである
オオカミとヤギは、な
れるはずのない友達
として様々な経験を
していきます。ガブと
メイの友情がとても
好きです。

ジブリの映画で有名にな
った「魔女の宅急便」の
原作となった本です。映画
では少女だったキキです
が、本ではその後いろ
んな経験をjして素敵な大人に
なりました。シリーズで
出ているので興味のある人
はぜひ続けて読破してみ
てください。

夏休み直前の終業式の
日、東京の下町にある
中学校の1年2組男子が
全員消えた。中学生たち
は、廃工場に立てこも
って、大人たちへの叛乱を起
こし、大戦争を巻き起
こしますが・・・学校図書館で
も大人気のシリーズです。

トピックス ～毛利元就（もうり もとなり）～

毛利元就は安芸国（広島県）の戦国大名です。50歳になるまでは、小規模な国人領主に過ぎなかったのですが、年をとってから一挙に中国地方のほぼ全域を支配下に置くまでに勢力を拡大しました。用意周到なその芸風で戦国屈指の策略家と評されています。元就は、安芸国吉田郡山城本拠地とした毛利弘元の次男として生まれました。父が死去した後、家臣に所領を横領されるなど、幼少時には相当の苦勞をしています。兄の興元が急死した後、嫡男・幸松丸が幼少のため、元就は叔父として幸松丸を後見します。毛利家の動揺について、隣の国の武田元繁（武田信玄で有名な甲斐武田家の親戚）が毛利領に攻めてきますが、元就は数で勝る武田軍を見事撃退して、大将の元繁を討ち取り、その武勇を高めます（この有田中井手の戦いは「西国の桶狭間」と呼ばれています）。やがて、幸松丸が亡くなると、元就は毛利家の家督を継ぎます。当時、中国地方には山陰の尼子氏と周防の大内氏の二大勢力がありましたが、元就は最初は尼子、後に大内と巧みに両者の間を泳ぎきり勢力を温存します。1551年、大内義隆が家臣の陶隆房の謀反によって殺害されると、徐々に毛利と陶の両者の対立は激しくなっていました。1555年、陶晴賢（隆房から改名）が大軍を率い、厳島で毛利軍と合戦見えました。厳島周辺の制海権を持つ村上水軍が毛利方についたこともあり、陶軍は大敗し晴賢は自害します。その後、大内氏内部での争いをきっかけにして元就は、大内氏を一気に滅亡に追い込み、九州を除く大内氏の旧領の大半を手中に収めます。

元就といえば、死ぬ間際の「三矢の訓え」の逸話が非常に有名ですが、実はこれは史実ではなかったようです。第一図書館にある毛利元就の伝記も、ぜひ読んでみてください。

今月のおすすめの本

「世界一おもしろい

数の本」

カリーナ・ルアール 文

「ムジナ探偵局」

名探偵登場

富安陽子 作

「ええところ」

くすのき

しげのり 作

手だけで60まで数える方法や、ゲームに強くなる方法、天気の詳細まで、数に関するおもしろい話が盛りだくさんのこの本！
読んでいくうちに数の歴史や仕組みがわかり、算数がたのしくなるはず！！

ムジナ探偵とおしかけ助手の源太の迷コンビがふしぎな事件に挑みます。白い木箱「ちいさなアブ」「学校の事件」の3話を収録。
あなたにこの暗号が解けるでしょうか？！

「わたしって、ええところひとつもないなあ」
背も低いし、走るのも遅いし、100点なんて一度も取ったことのない、あいちちゃんが、こうつぶやくと、友達のともしちゃん…

編集後記

運動会の練習と並行して、5年生は3クラスずつに分かれて『大造じいさんとガン』と伝記に取り組んできました。『大造じいさんとガン』のクラスでは、棕鳩十についてと、著作を何冊かクラスで紹介させていただきましたが、「早く読みたい」と声が上がり、全員が本を手にとると、シーンと静まり返って空気が締まる感じがするほど熱心に読んでくれていました。また、伝記のクラスでも、1人1冊伝記を読んで、同じ偉人について読んだ児童が集まり、読書座談会にチャレンジしています。棕鳩十さんが、「感動は人生の窓を開く」と言っています。さらに、「なにかを成しとげた人は必ずなにかしらの「感動」の連続をもっているから、是非、伝記を読んでごらんください」とも言っています。本にはいろいろな感動があります。読書の秋です。秋の夜長に本を読んでみませんか。
学校司書 近江